

TOPICS トピックス

～ 下水道に関する実証実験開始～

02

どんなところ？ 実験をするの？

実証実験場所の1つに選ばれたのは、八代町の教育プラザ南東側交差点にあるマンホール。

ここは、大きな下水道管が合流する最後の地点で、一番水量が多い場所で、汚水がマンホールからあふれる可能性が高い場所です。



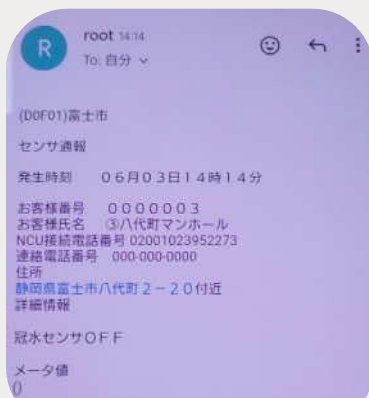
令和7年6月3日、「スマート水道メーターを活用した上下水道事業の課題解決に向けた実証実験に関する協定」に基づき、下水道管内の水位上昇を検知し、無線で通知する実証実験を行うため、マンホール内にセンサーと無線機を設置しました。

この実験は、デジタル技術を活用して、雨天時の下水道管内の水量を感知し、マンホールからあふれ出てしまう前に、対応することを目指すとしています。

梅雨と台風シーズンにおいて、水量増加の状況を、市内6か所に設置したセンサー通じて把握し、その結果を下水道事業に活用していきます。

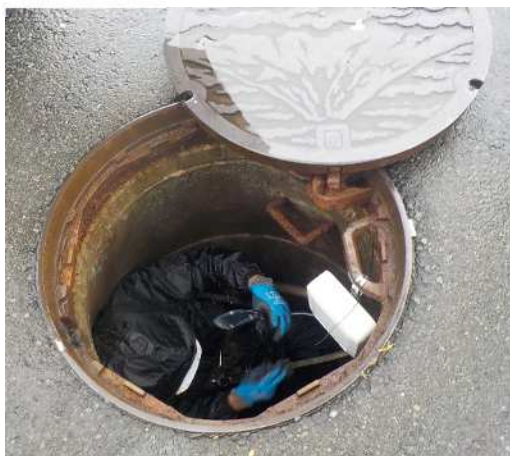
スマート水道メーター
技術を下水道にも利用

センサーが反応したら、 どうするの？



センサーが規定以上の水量を感知すると、担当職員にメールが自動送信されます。

そのメールをもとに、マンホールから汚水があふれて、周辺汚染や道路障害がおこらないように、下水処理施設の能力を調整します。



↑ 取付作業の様子 ⇒

